

小郡市教育大綱を 策定しました



教育大綱について



総合教育会議の様子

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が一部改正され、地方公共団体の長(市長)は、地域の実情に応じて地方公共団体の教育、学術および文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることになりました。

従来、教育に関する施策は、教育委員会が策定・実施していました。しかし、今後は、市長と教育委員会が、「総合教育会議」で教育施策について協議・調整を行っていきます。

市長が策定した教育大綱を基本的な方針として、市長と教育委員会が教育における課題やめざす方向を共有し、一体となって教育施策を進めていきます。



ほんものの教育力おごおり

～学びでつながるひと・まち・未来～

基本目標1



ほんものの学びで
すべての子どもに
生きる力を

基本目標2



子どもを支える
学校・家庭・地域
の学びと協働

基本目標3



学びのまち小郡
の実現・継続

確かな学力、豊かな心、健やかな体を育み郷土の伝統や文化などを身に付けるとともに、グローバルな視点で世界を見つめ、これから的小郡、日本、世界の発展に向けて活躍できる人材の育成を目指し、「ほんもの学び」を推進します。

これから時代を切り拓く
すべての子どもの
たくましく生きる力を育みます

社会や地域の変化に対応して、学校・家庭・地域がお互いを高める学び合いを進めるとともに当事者意識を持ち、連携・協働して子どもたちの育ちを支えます。

学校・家庭・地域が
互いに学び合い、
協働して子どもを支えます

未来を見つめ、子どもから高齢者まで連続した学び（生涯学習）の場を提供し、市民一人ひとりの自己実現を図るとともに、将来の小郡市発展を担う人材を育成します。



PICK UP!!

より質の高い教育（確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成）を推進するために小・中学校への教育条件の整備に努めます。

☆教職員の専門的な資質を高める研修の支援
教職員研修サポート事業（5ページ参照）

空調設備の整備、大規模改修など
教育環境の整備に努めます。

☆学校などの空調設備の整備の推進
☆計画的大規模改修の推進



社会教育施設の整備を推進します。
☆大原校区公民館（仮称）の完成・活用（イメージ）

重点目標

- ①幼児教育の充実
- ②小・中学校教育の充実
- ③青少年教育の充実
- ④人権・同和教育の充実
- ⑤生涯学習の充実
- ⑥図書館活動の充実
- ⑦文化活動の充実
- ⑧文化財の保護活用の充実
- ⑨スポーツ・レクリエーションの充実

※教育大綱の全文を、市ホームページ（ホーム▶子育て・教育▶教育▶小郡市教育大綱）に掲載しています

『進めよう! /

「小郡の子ども共育10の実践」

市は、教育大綱の基本目標の1つに「子どもを支える学校・家庭・地域の学びと協働」を掲げています。「小郡の子ども共育10の実践」は、その「学校」「家庭」「地域」の三者の役割を明確にし、相互に連携・協力して、子どもを育てるなどを推進するものです。ここでは、昨年行われた取組の一部を紹介します。

※共育とは、子どもと大人が共に育つことです



園・学校



米づくり体験活動

学校では、「豊かな心」を育てるためにさまざまな体験活動に取り組んでいます。昨年、御原小学校では、社会科や総合的な学習の時間に、米作りを体験しました。子どもたちは地元の方の指導のもと、種もみまき・田植え・稻刈りを体験。手作業の大変さや稻が成長することの喜びを実感するとともに、働く人々へ感謝の気持ちや自然の偉大さなど学ぶことができました。

- ① 確かな学力を育てよう
- ② 豊かな心を育てよう
- ③ 健やかな体を育てよう

家庭



PTAによる「あいさつ運動」

家庭では、子どもの自立を促すために、PTAと生涯学習課が連携して、保育園・幼稚園で「親子でチャレンジ!規則正しい生活習慣づくり～青少年アンビシャスカレンダー～」の取組を行っています。

また、小・中学校のPTAを中心、「早寝・早起き・朝ご飯」の取組や、朝の登校時に「あいさつ運動」を行っています。

- ① 規則正しい生活習慣を
- ② 家族の楽しいだんらんを
- ③ 家族で役割やルールを決めて

地域



中学生の職場体験

地域では、「地域の産業に学ばせる」取組として、各中学校の職場体験を積極的に受け入れています。

子どもたちは、地域の企業や公共施設などで実際に仕事を体験することで、働くことの意義を考えたり、自分自身の将来についての視野を広げたりすることができました。

- ① 地域で子どもの安全を守ろう
- ② 子どもの居場所をつくるう
- ③ 生活体験を豊かにしよう
- ④ 地域の産業に学ばせよう



「ほんものの教育」を求めて 先生も学び続けています! ～小郡市教職員研修サポート事業報告～



『ほんものの教育力あごおり』を理念とした教育大綱。市では、小・中学校に最先端の教育を取り入れてもらうため、学校の先生を全国各地に派遣する事業「小郡市教職員研修サポート事業」を実施しています。先生たちがどんなことを学んできたのか、その一部をご紹介します。

三国小学校



研修先

第12回全国小学校英語活動
実践研究大会仙台大会

- ①次の学習指導要領改訂へ向けて、今できることやこれからの方針性を勉強したかったからです。
- ②子どもたちがいきいきと英語を使って活動していました。友達に伝わるように、はっきりと話したり動作をつけたりして工夫していることがよく伝わってきました。また、教師が楽しく英語を使うことが、子どもたちにとって安心感ややる気につながるという講演が強く心に残りました。
- ③クラスルームイングリッシュ(英語で褒めたり説明したりする)を学級担任が積極的に使うよう努力するとともに、職場でも共有していきたいです。

東野小学校



廣重和代先生



堤朋子先生

研修先

大分県豊後
大野市立三重
第一小学校

- ①「自ら本を手にして読む子」をめざして、学校図書館の活用を図りたいと考えたからです。
- ②背の高い書架を切り取って圧迫感のない明るい空間を作ったり、蔵書の点検・ラベル貼りを行ったりして、居心地のよい図書館環境作りを実践されていることです。また、ペア読書や読書bingoなどの取組を通して、読むことの楽しさを味わうことができる指導の工夫を学びました。
- ③図書館の環境整備に努めるとともに、学校司書と担任の連携を密にし、「自ら本を手にして読む子」をめざして指導の工夫を行っていきたいです。



先生たちに聞きました!

宝城中学校



研修先 信州大学

- ①宝城中学校の研究テーマ『学び合い』の研究を進める中、「授業の中にどのように『学び合い』を位置づけるべきなのか」という疑問が生じたため、『学び合い』について研究推進されている信州大学の三崎隆教授に指導・助言を頂きたいと考えたからです。
- ②「『学び合い』の理念は、一人も見捨てない教育である」という教授の教えです。一斉授業ではなく、子どもたち同士で『学び合う』という授業スタイルを確立すれば、全ての子どもたちが「わかった!」と言える授業をつくることができると思いました。
- ③研修した内容を基盤にしながら、宝城中学校にできる『学び合い』の授業づくりの推進と、その有効性を市内の学校へ発信したいです。

大原中学校



小島章稔先生

研修先

福井市立光陽中学校、
フェニックスプラザ
(講演・シンポジウム)

- ①学力向上・学習状況調査で常にトップ水準を維持している福井県の学校を視察し、どこに学力向上の秘密があるのかを見つけることで、小郡市の教育に生かしたいと考えたからです。
- ②福井県の学校の先生たちに見られる協働と共通理解です。教科指導を始め、部活動指導、宿題チェック、無言清掃に至るまで、全ての先生が同じ基準で指導し、支え合いながら働く環境とチームワークがあるということです。
- ③すぐにでも実践可能な取組とそうでないものを見極め、実行可能な取組については校内研修などで共通理解を図り、学校全体で協働していきたい。具体的には、家庭学習や教室環境整備、無言清掃などを徹底させたいです。

●問合せ先 教務課教務係☎72-2111(内線512)